

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 31 日現在

機関番号：34416
 研究種目：基盤研究(B)
 研究期間：2009～2012
 課題番号：21320135
 研究課題名（和文）
 ソグド人の東方活動に関する基礎的研究
 研究課題名（英文）
 Sogdian Activities in China
 研究代表者
 森部 豊（ MORIBE YUTAKA ）
 関西大学・文学部・教授
 研究者番号：00411489

研究成果の概要（和文）：

中央アジア出身のソグド人のうち、北朝・隋・唐時代の中国社会で活動した者たちを取り上げ、彼らの政治・軍事・文化史上の活動を、いわゆる正史などの編纂史料のみならず、既出・新出の墓誌銘をはじめとする石刻史料および考古学的発見による文物資料を利用し、検証を加えた。その結果、ソグド人の東方活動には、北朝・隋・唐初における活動の担い手と、それ以降の時期の活動の担い手において、断絶があるのではないかという仮説にいたった。また、ソグド人研究に必要な基本的資料の収集をほぼ終え、別途公開する基礎的作業が完成した。

研究成果の概要（英文）：

We studied the activity of the Sogdian from Central Asia from the 5th century to the 10th century in China. Sogdian worked in the direction of many of Chinese politics, economy, and military affairs. We clarified their activity using Zhengshi(正史), epitaphs and archaeological evidence. Moreover, we finished mostly collection of fundamental data required for Sogdian research, and completed the fundamental work exhibited separately.

交付決定額

(金額単位：円)

| | 直接経費 | 間接経費 | 合計 |
|--------|------------|-----------|------------|
| 2009年度 | 4,300,000 | 1,290,000 | 5,590,000 |
| 2010年度 | 3,100,000 | 930,000 | 4,030,000 |
| 2011年度 | 2,900,000 | 870,000 | 3,770,000 |
| 2012年度 | 2,100,000 | 630,000 | 2,730,000 |
| 年度 | | | |
| 総計 | 12,400,000 | 3,720,000 | 16,120,000 |

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：史学・東洋史

キーワード：ソグド人 ソグド軍人 墓誌銘 安祿山

1. 研究開始当初の背景

一般に、ソグド人といえば国際商人としての側面が有名であり、彼らの軍人としての側面は影が薄い。この点、森部と山下はソグド人の軍人の側面を研究し、森部は8世紀から

10世紀のソグド軍人をソグド系突厥という遊牧民化したソグド人という視点から研究し、また山下は、北朝時代に中国北部の河西からオルドスに移住し定住したソグド人が、唐の建国に軍事的にかかわっていたことを

研究していた。

2. 研究の目的

ソグド人の東方活動に関する研究を進展させるために、(1) 近年、大量に公刊されている石刻史料、およびソグド人墓群の発見により新たに出現した文物資料に対し、それらを系統的に利用・研究する道筋をつけること、

(2) 中国におけるここ数年のソグド研究が大量に出現しているが、その全体像が把握できていないので、その研究史を把握すること

(3) 現在、研究者個人レベルに留まっている史・資料のデータベースを整理し、学界の共有財産とすることの3点を目的とした。

3. 研究の方法

上記の目的のために、まず日本語・中国語・欧米諸言語で書かれたソグド人の東方活動に関する研究文献を網羅的に集めて目録を作成する。次に漢文で書かれた編纂史料、石刻史料、出土文書史料を整理し、それらに見えるソグド人のインデックス・データベースを作成し、各史料・文物資料に解題を付し、今後のソグド研究の基礎的学術情報を整備する。海外調査については分担作業領域に従い、石刻・出土文書史料と出土文物を実見し、既発表のものは積文・図録と照合し、未公開のものについては調査を行う。最終年度は国際シンポジウムを開催し、また上記の研究文献目録、研究史、関連史・資料解題を公刊し、国内外にその情報を発信する。

4. 研究成果

本研究班では、特に新出の石刻史料とソグド人の墓葬資料（石棺牀など）に着目し、それらを可能な限り、現地において実物を検分し、既発表のものならば録文と対校し、正確な史料作成を行い、また分散しているソグド人の墓葬資料については、すべて実見してデータベースを構築する準備を行うこととし

た。前者の成果の一部は下記の研究者による個別研究の中で発表し、後者については、資金などがかかりすぎるため、別の方法でデータベースの構築と公開を行う予定である。

森部は、羽田・小野川・Pulleyblankの研究を継承し、突厥の影響を受けたソグド人（ソグド系突厥）の実態と東ユーラシア世界における具体的活動を、石刻史料から明らかにした。本研究期間の後半では、ソグド系突厥の代表的人物である安祿山に研究対象をしぼり、安祿山の軍団構成の分析を行った。その結果、安祿山は祆教儀礼を通じソグド商人との結束を図り、突厥遺民に対しては、安祿山の出自（阿史徳の血を引く俗的権力の側面と巫の子であるという聖なる権威）によって君臨し、契丹に対しては擬制的血縁関係によって結びついたことを明らかにした。それゆえ、安祿山の死後、その軍団がばらばらとなり、統一した勢力を維持しえなかったと結論付けた。

研究分担者の山下将司は、北朝～隋～唐前半期におけるソグド人の活動を主として軍事面から考察し、当該時期の政治史に軍人としてのソグド人が深くかかわっていた新事実を明らかにした。

連携研究者の岩本篤志は、自身が関心を持つ敦煌文書とその周辺研究領域ともいえる吐魯番文書にも目をむけ、それらを利用した近年のソグド人研究の整理を行った。

連携研究者の影山悦子は、ソグド美術の専門家であるが、今次の研究班においては、特に北中国で発見されたソグド人石棺牀に関する研究の整理を行った。

連携研究者の福島恵は、もともと大量のソグド人墓誌をデータ化し、そこからソグド人が漢字文化圏で名乗る姓（ソグド姓）の分析を行っていたが、その基礎的知識をふまえ、個々のソグド人墓誌の詳細な解釈とそれを

もとにした研究とにより、ソグド人の東方活動の一端を明らかにしていった。

また研究協力者の中田美絵は唐代の政治史と仏教史を専門とするが、そこに介在したソグド人に着目して研究を行い、最終的には五代にまで視野をひろげ、論を展開した。

以上の研究成果は、旧来の紙媒体形式で『ソグド人の東方活動に関する基礎的研究』（平成21年度～平成24年度科学研究費補助金（基盤研究（B））研究成果報告書）として別途公刊した。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計20件）

- ①森部豊「安祿山・研究編」『ソグド人の東方活動に関する基礎的研究』, 2013, 9-46, 査読無し
- ②福島恵「唐の中央アジア進出とソグド系武人—「史多墓誌」を中心に—」『学習院大学文学部研究年報』59号, 2013, 27-54, 査読無し
- ③福島恵「東アジアの海を渡る唐代のソグド人」鶴間和幸・葛剣雄編著『東アジア海文明の歴史と環境』, 2013, 119-136, 査読無し
- ④森部豊「安史の乱」三論『アジアにおける文化システムの展開と交流』, 2012, 1-34, 査読無し
- ⑤森部豊「安史の乱におけるテュルク・イラン系軍人」『中央아시아研究』17-1, 韓国・ソウル, 2012, 1-26, 査読無し
- ⑥山下将司「唐の太原挙兵と山西ソグド軍府—「唐・曹怡墓誌」を手がかりに—」『東洋学報』93-4, 2012, 31-59, 査読有り
- ⑦岩本篤志「北朝隋唐時期的貴石印章和粟特人」(中国語)『高台魏晋墓与河西历史文化研究』, 2012, 462-471, 査読無し
- ⑧影山悦子「4～8世紀のバクトリアとソグディアナの服飾」『古代中国をとりまく胡漢諸民族の服飾に関する調査研究』（平成21～23年度文部科学省委託服飾文化共同研究拠点事業報告）, 2012, 77-112, 査読無し
- ⑨森部豊「東ユーラシア世界におけるソグド人の外交活動に関する覚書」『アジアが結ぶ東西世界』, 2011, 187-209, 査読無し
- ⑩森部豊「安祿山女婿李献誠考」『東西学術研究所創立六十周年記念論文集』, 2011, 245-269, 査読無し
- ⑪森部豊「増補：7～8世紀の北アジア世界と安史の乱」森安孝夫編『ソグドからウイグルへ』, 2011, 175-205, 査読無し
- ⑫山下将司「唐のテュルク人蕃兵」『歴史学研究』881, 2011, 1-11, 査読有り
- ⑬山下将司「北朝時代後期における長安政権とソグド人—西安出土「北周・康業墓誌」の考察—」森安孝夫編『ソグドからウイグルへ』, 2011, 113-140, 査読無し
- ⑭岩本篤志「敦煌秘笈「雑字一本」考—「雑字」からみた帰義軍期の社会」『唐代史研究』第14号, 2011, 24-41, 査読有り
- ⑮影山悦子「ソグド人の壁画」曾布川寛, 吉田豊(編)『ソグド人の美術と言語』, 2011, 119-143, 査読無し
- ⑯福島恵「安元寿墓誌」(唐・光宅元年)訳注」森安孝夫編『ソグドからウイグルへ』, 2011, 141-174, 査読無し
- ⑰森部豊「ソグド人の東方進出とその活動—商業活動と外交活動を中心に—」『アジア遊学』137, 2010, 178-189, 査読無し
- ⑱山下将司「隋唐の建国と中国在住ソグド人」『アジア遊学』137, 2010, 190-198, 査読無し
- ⑲福島恵「罽賓李氏一族攷—シルクロードのバクトリア商人—」『史学雑誌』第119編

第2号, 2010, 35-58, 査読有り

- ⑳ 森部豊 「唐末・五代・宋初の華北東部地域における吐谷渾とソグド系突厥—河北省定州市博物館所蔵の宋代石函の紹介と考察—」『遼金西夏研究の現在』2, 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所, 2009, 25-48, 査読有り

〔学会発表〕(計14件)

- ① 福島恵 「墓誌史料より見たソグド人の東方移住の経路について」2012年度唐代史研究会夏期シンポジウム(箱根・静雲荘)2012年8月20日
- ② 山下将司 「北朝末唐初間におけるソグド人軍府—ソグド人漢文墓誌より—」第5回中国石刻合同研究会(明治大学)2012年7月28日
- ③ 山下将司 「第二可汗国滅亡後の唐領内における突厥遺衆について」第44回中央アジア学フォーラム(大阪大学)2012年3月30日
- ④ Etsuko Kageyama, “Wall paintings from the site of Kala-i Kakhkakh in Ustrushana”, Afghanistan Meeting 2012, Between Sogdiana and Gandhara in the pre-Islamic period, (京都大学人文科学研究所人文学国際研究センター・龍谷大学龍谷ミュージアム主催, 於京都大学・龍谷大学)2012年3月5, 6日
- ⑤ 山下将司 「唐の太原挙兵と山西ソグド軍府—新出唐代墓誌をてがかりに—」中国出土資料学会平成23年度第2回例会(大正大学)2011年12月10日
- ⑥ 森部豊 「安史の乱におけるテュルク・イラン系軍人」Korean Association for Central Asian Studies International Conference 2011 (韓国ソウル, 国立中央博物館)2011年11月12日
- ⑦ 森部豊 「『安史の乱』雑考—中央ユーラシ

アからの視点をふまえて—」七隈史学会第13回大会(福岡大学)2011年10月2日

- ⑧ 福島恵 「『洛陽景教経幢』と洛陽のソグド人について—張乃翥「洛陽景教経幢与唐東都“感徳郷”的胡人聚落」を中心に—」第40回中央アジア学フォーラム(大阪大学)2010年12月4日
- ⑨ 影山悦子 「ウズルシャナの都城址カライ・カフカハI遺跡から出土した壁画について」日本オリエント学会(国士舘大学)2010年11月7日.
- ⑩ 森部豊 「7~8世紀の北アジア世界と安史の乱」国際シンポジウム・東アジア海文明の歴史と環境—日中韓研究者の語る東アジア海文明の未来像(学習院大学)2010年2月28日
- ⑪ 森部豊 「唐~宋初の華北地域史研究と石刻史料」第2回中国石刻合同研究会(明治大学)2009年7月25日
- ⑫ 森部豊 「ユーラシア東部地域におけるソグド人の外交活動」中国四国歴史学地理学協会2009年度大会(愛媛大学)2009年7月5日
- ⑬ 福島恵 「漢文墓誌からみる唐代ソグド人—李抱真を例に—」第25回学習院大学史学会大会(学習院大学)2009年6月6日
- ⑭ 森部豊 「唐末・五代・宋初の華北東部地域における吐谷渾とソグド系突厥—河北省定州市博物館所蔵の宋代石函の紹介と考察—」第36回中央アジア学フォーラム(大阪大学)2009年5月2日
- 〔図書〕(計3件)
- ① 森部豊 『アジアにおける文化システムの展開と交流』(橋寺知子と共編著)関西大学出版部, 1-276頁、2012年
- ② 森部豊 『アジアが結ぶ東西世界(アジアにおける経済・法・文化の展開と交流3)』(橋寺知子・蜷川順子・新谷英治と共編著) 関

西大学出版部, 1-449 頁、 2011 年

③森部豊『ソグド人の東方活動と東ユーラシア世界の歴史的展開』関西大学出版部, 379 頁、2010 年

6. 研究組織

(1)研究代表者

森部 豊 (MORIBE YUTAKA)

関西大学・文学部・教授

研究者番号：00411489

(2)研究分担者

山下 将司 (YAMASHITA SHOJI)

日本女子大学・文学部・准教授

研究者番号：50329025

(3)連携研究者

岩本 篤志 (IWAMOTO ATSUSHI)

立正大学・文学部・講師

研究者番号：80324002

影山 悦子 (KAGEYAMA ETSUKO)

関西大学・アジア文化研究センター・非常勤研究員

研究者番号：20453144

福島 恵 (FUKUSHIMA MEGUMI)

学習院大学・東洋文化研究所・共同研究員

研究者番号：10523764

(4) 研究協力者

中田 美絵 (NAKATA MIE)

関西大学・東西学術研究所・非常勤研究員

研究者番号：00582842